

私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

2014(26)年 週 報

4月 13日

第2 聖日

3347号

「十字架」

(イースター連続講演第2回)

聖
言

父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。

ルカ23:34

礼拝の恵みⅢ

親が子どもに美味しいものを食べさせたいと願うように神様は神の子に礼拝をささげるのを願います。なぜなら人間の最高の喜びは礼拝をささげることだからです。すなわち主なる神にのみ礼拝をささげるのは造られたものの神に對する当然の行為だからです。旧約の代表的な七つの祭り（過ぎ越し、種入れぬパンの祭り、初穂の祭り、七週の祭り、ラッパの祭り、贖いの祭り、仮庵の祭り）は礼拝の雛形である。旧約における幕屋は神様との出会いの場であり、また礼拝の場を表している。イスラエルの集団における幕屋を中心に民の天幕は配置されていた。これは働きをするにしても、戦をするにしても、家庭生活をするにしても礼拝を度外視した生活はありえないことを示す。また幕屋の任務に携わる人物の年齢についても二〇歳の男子すなわち、人間として一番成熟した人しか携われなかった。これも礼拝の深遠さを示す。幕屋に五つの供え物（全焼のいけにえ、穀物のささげ物、和解のいけにえ、罪のためのいけにえ、罪過のためにいけにえ）これは、イエス様が父なる神に對しての礼拝の雛形であるが、これをとおして私たちも神様にどのような礼拝をささげるかを悟るべきです。

(A P ギブソン「礼拝」参考)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：F A X (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年四月六日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「最後の晩餐」 (イースター連続講演第一 一回)

「食事の後、杯を同じようにして言われた。」この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」

(ルカ三ノ二〇)

四福音書に最後の晩餐は記されている。イエスはこれを待ち望んでいた。そして神の国が成就するまでもう晩餐はしないといわれる。パンを裂いて私の中からである。杯を取り、これはわたしの契約の血です。多くの人のために流されるものです。と言われる。イエス様は私に世界を与えてくださっただけでなく、造り主であるご自身と血、すなわち生命を与えてくださった。それも犠牲として与えてくださった。現代再生医療で新しい臓器が造られる。そうでなく、イエスは痛みをとまなつてくださったのです。ありがたみが違う。創造者に生命を与えられる。それも私の罪のために血を流されることにより、血をながされるだけでなく、罪の恥と罰と怒りを受けてくださったのである。

二〇一四年 四月九日午後七時 祈祷会 山本牧師

「召命の言葉」

「人の子よ。わたしはあなたをイスラエルの民、すなわち、わたしにそむいた反逆の国民につかわす。彼らも、その先祖たちも、わたしにそむいた。今日もそうである。彼らはあつかましくて、かたくなである。私はあなたを遣わす。あなたは彼らに『神である主はこう仰せられる。』と言え。」

(エゼキエル二ノ三、四)

彼らは主のあふれる恵みにもかかわらず、主に感謝もせず、偶像を慕い、何度も預言者を遣わしたのに無視し、遂に外国に連れ去られる。それでもなおかたくなさを持ち続けている。「反逆の国民」とは、異邦人と訳されている。しかし、反逆の民だからこそ預言者を遣わされた。そこに主の比類なく愛が現れている。「しかし私たちがまた罪人であったとき、キリストが私たちに

のために死んでくださったことにより、神は私たちに対する御自身の愛を明らかにしておられます。」(ローマ五ノ八) 主は従順なしものでなく、むしろ醜い罪人なる私を愛してくださった。「彼らのことばを恐れるな。たとい、あざみといばらがあなたといっしょにあつてもまたあなたがさそりの中に任んでも、恐れるな。彼らは反逆の家だから、その言葉を恐れるな。彼らの顔にひるむな。」キャンパス・クルセード総裁ビル・ブライトさえ「私がこの運動を始めて四〇年、個人伝道をする時に、恐れとの戦いがなかったときは一度もない。」と言われる。

四月二〇日(日) 礼拝後教会総会をおこないます。

教会員は全員出席しましょう。欠席される方は委任状を提出してください。

第十五回癒し五〇日連続祈祷

三月一七日(月)〜五月五日(月)

午後二時〜午後一時半(祈りの後、楽しいティーで休憩) 場所 教会 階(気軽に参加して共に祈りましょう)

今年の教会受難カレンダー

- ① 灰の水曜日三月五日(水)
- ② 四旬節(レント)三月五日(水)〜四月一九日(土)
- ③ 棕櫚の主日…四月一三日(日) マタイ二ノ一〜十一、ヨハネ十二ノ十二〜十九
- ④ 受難週四月一三日(日)〜四月一九日(土) マタイ二ノ二七章、ヨハネ十二ノ十九章
- ⑤ 洗足木曜日四月十七日(木) ヨハネ十三ノ一〜十七
- ⑥ 受難日四月一八日(金) ルカ二三ノ三三
- ⑦ イースター四月二〇日(日) マタイ二八ノ二〜四
- ⑧ 昇天日 五月二九日(木) マルコ一六ノ一九ルカ二四ノ五一
- ⑨ 聖霊降臨日 六月八日(日) 使徒二ノ